

令和5年度 学校評価書

(計画段階) 実施段階)

福岡県立八幡高等学校

自己評価					学校関係者評価	
学校運営計画(4月)				評価(総合)	評価(総合)	
学校運営方針		伝統を継承しながらもしなやかに創造的な教育活動を展開して、新学科設置準備を推進するとともに、理数科との並置体制の魅力的な在り方を模索して、その広報を展開し、学校の活性化と生徒の能力の伸長を図る				
昨年度の成果と課題	年度重难点	具体的目標			自己評価は A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である	
新型コロナウイルス感染症に対して保健委員会を中心とした生徒の積極的な感染予防を行う中、学習や学校行事、部活動に生徒が主体的に取り組み、成果を上げることができた。また、生徒の進路実現に向け、授業改革、教科科目横断型授業の促進、進路指導・入試対策の充実が組織的に図られ、生徒の意欲的な学習に結びついた。 今年度は、これらの取組を一層充実させるとともに教育相談の充実等、外部機関との連携を強化して生徒の抱える課題にも早期に丁寧に対応していく。また、新学科設置準備を組織的に推進し、関係機関との連絡調整のもと、魅力ある新学科を創設するとともに、広報活動を積極的に展開していきたい。更に理数科と切磋琢磨する新学科設置によって学校全体の活性化を図り、新たな時代の要請に知恵と工夫でしなやかに応え、時代を切り拓く特色化に果敢に挑戦していきたい。	命と健康を第一とした教育活動の展開	・命・安全・健康を第一に考え、感染症対策を意識しながら、魅力的な教育活動を展開する。				
教員の自己研鑽による授業力向上と、高い志と知的好奇心に支えられた主体的な学びの実現による学科改革への挑戦	教員の自己研鑽による授業力向上と、高い志と知的好奇心に支えられた主体的な学びの実現による学科改革への挑戦	・学校設定教科にすることを意識しながら、他教科との連携を図って深化した教科科目横断型授業を推進するとともに、新たな学校像の確立と特色化を図り、学科改革を推進する。 ・ICTを活用した新たな学びの在り方を模索して指導力の向上に努める。 ・教員が語る教科の魅力から、意欲と向上心が掻き立てられる学習指導を目指す。 ・基礎基本の確実な定着の上に、深い学びが実現できるよう、各教科が指導の方向性を共有した上で、3年間を見通して組織的に教科教育を実践し、各教科の力を理数科及び新学科の盤石な基盤としていく。				
		・学校教育全体をとおして、生徒の主体性を最大限に引き出し、生徒が「志」に向かって自立的・意欲的な人生を生きられる能力を身につけさせる。 ・人に対する思いやりと、クラス・学年・学校を「家族」にする意志を持たせるとともに、地域や学校関係の方々への感謝の気持ちを抱き、愛校心のある生徒を育てる。 ・知恵と工夫で、生徒主体の生徒会活動、学校行事、部活動を一層推進し、主体性・自立性の涵養と相互に高め合う集団づくりに努める。 ・適切なヒドゥン・カリキュラムのもと、全教育活動において自他の人権尊重の精神を養う人権・同和教育を実践する。				
	高い志を持つ生徒の育成と学力保障、進路指導の充実	・魅力ある教育活動が旺盛な知的好奇心や行動力の育成に繋がり、学問の面白さに気づかされて学習することで、結果的に生徒が高い志を持ち、難関大学をはじめとする進学実績の向上に発展していく学校の在り方を目指す。 ・生徒が希望する大学に合格できるよう、学力保障のための授業・放課後課外等を実施する。 ・進路指導の方法や指導内容の諸課題についての方向性、進路情報等を全体で共有し、一貫した進路指導システムを構築する。				
	理数科と新学科が切磋琢磨する、他校にはない特色ある教育活動の推進	・SSHの成果を活用した理数科における教育を基軸として理数探究等の探究的な姿勢を夢現プロジェクトという形で新学科にも応用するとともに、理数科と新学科とが切磋琢磨する教育活動を展開し、新学科での特色ある教育活動を検討する。 ・国際的視野を育成するため、海外語学文化研修等を充実させる。				
広報活動の充実と特色ある教育活動の積極的な発信		・ホームページを中心とする多様なメディアの活用や学校説明会等によって、本校の特色ある教育活動や実績を発信する。 ・PTA・誠鏡会(同窓会)・学校後援会と連携して、教育効果を高める。 ・中学校や各種説明会、塾(予備校)等に直接足を運んで、本校の教育活動を積極的にアピールする。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	項目ごとの評価	
教科指導の充実と特色ある学校づくりの推進	教師の自己研鑽による授業力向上と生徒の主体的な学びの実現	一人一台端末を利用した授業の促進 3年間を見通した各教科の指導方法の確立 評価規準を活用した体験的な教科教育の実践			学校関係者評価委員会からの意見	
	新学科設立の準備	教育課程の見直し 学校設定科目「知の追究(教科科目横断型授業)」の体系化 知の統合科の認知度を高める広報活動の展開				
自己指導能力育成を目指した生徒指導	魅力ある学校づくりと規範意識の高揚・マナーの向上	学校行事への積極的な取組と部活動の充実 学校教育活動全般における規範意識及びマナーの向上 全職員・PTAの協力によるマナーの向上の推進				
	心身の健康づくりと安心・安全な教育環境の整備	相談、スクールカウンセリングの充実と保護者等との連携強化 合理的配慮をする生徒の把握及び職員間での支援体制の推進 委員会活動を通じての健康管理、美化意識の醸成				
志の育成と特色ある教育活動の推進	高い志の育成と難関大志望者と合格者数の増大	第1志望をあきらめさせない進路指導の徹底と高い学力の育成 総合型選抜・学校推薦型選抜合格に向けた指導方法の共有化 学力保障のための放課後課外・土曜セミナーの充実				
	理数科の課題研究と普通科の夢現∞プロジェクトの充実	夢現∞プロジェクトを通して、生徒の進路意識の高揚 進路希望別の放課後課外・土曜セミナーの計画・実施 理数科・普通科で切磋琢磨できる環境の創出				
教員の資質・能力の向上	新たな学びの在り方の体系化	新学科設置に向けた情報発信と特色ある教育活動の体系化 校内研修会の計画的実施 研究授業、授業アンケートを活かした授業改善の推進			評価項目以外のものに関する意見	
自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ 						